

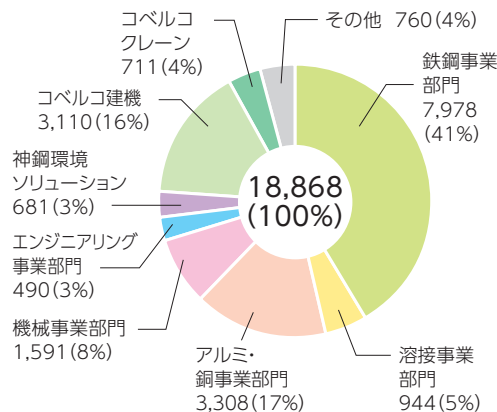
■当期の概況

当期のわが国経済は、消費税に伴う駆け込み需要の反動影響がみられたものの、政府の各種経済対策や日本銀行の金融緩和策を背景に、企業収益の改善や設備投資の増加、公共投資が引き続き高水準で推移するなど、景気は総じて回復基調が継続しました。海外では、米国においては緩やかながら景気回復基調が継続しましたが、欧州においては引き続き景気は低調に推移し、中国および東南アジアにおいても、景気の減速基調が継続しました。

このような経済環境のもと、当社グループにおいては、自動車向けの鋼材需要が、国内では消費税に伴う駆け込み需要の反動により減少し、海外では新興国において低迷したことなどから、鋼材の販売数量は、前期を下回りました。アルミ圧延品の販売数量は、飲料用缶材や自動車材を中心に輸出の拡販に取り組んだことなどから、前期を上回りました。銅圧延品の販売数量は、銅板条においては自動車用端子、銅管においては海外での需要が堅調に推移したことなどから、前期を上回りました。油圧ショベルの販売台数は、拡販が順調に進捗している欧米などにおいては増加したものの、国内、中国および東南アジアにおいては減少したことから、前期を下回りました。

この結果、当期の売上高は、前期に比べ621億円増収の1兆8,868億円となり、営業利益は、前期に比べ49億円増益の1,194億円、経常利益は、前期に比べ166億円増益の1,016億円、当期純利益は、前期に比べ163億円増益の865億円となりました。

事業別売上高(平成26年度) (単位:億円)



(注)上記円グラフの各事業の売上高の合計から、各事業間の内部売上高等の消去額707億円を差し引いた金額が、連結売上高の合計額18,868億円となります。なお、各事業別の比率は、各事業の売上高の合計をもとに算出しております。



鉄鋼事業部門

7,978 億円

(前年同期比 △1.3%)



- 鋼材販売数量：消費税に伴う駆け込み需要の反動による自動車向け需要減少などから、前期比減
- 鋼材販売価格：円安影響による輸出価格改善により前期比上昇
- 鑄鍛鋼品売上高：造船向け需要回復基調で前期比増
- チタン製品売上高：需要回復し前期比増
- 経常利益：在庫評価影響の収益押し上げ効果剥落により前期比47億円減益の287億円

線材コイル



溶接事業部門

944 億円

(前年同期比 +6.9%)



- 溶接材料販売数量：国内の造船向け需要回復基調、建築向け需要堅調も東南アジア需要減により前期並
- 溶接システム売上高：国内建築向け需要が堅調に推移し、前期比増
- 経常利益：前期比30億円増益の102億円

柱大組立溶接ロボットシステム



アルミ・銅事業部門

3,308 億円

(前年同期比 +11.9%)



- アルミ圧延品販売数量：飲料用缶材、自動車向け輸出拡販効果により、前期比増
- アルミ鑄鍛造品売上高：海外の自動車向け需要が堅調に推移し、前期比増
- 銅圧延品販売数量：自動車向け板条堅調、海外向け銅管需要堅調で、前期比増
- 経常利益：エネルギーコスト上昇影響などにより前期並の151億円

6,300t
メカニカル鍛造プレス





機械事業部門

1,591 億円
(前年同期比 +6.2%)



- 受注高：海外を中心に石油化学業界向け圧縮機、樹脂機械で大型案件受注も、石油精製業界向け中心に需要が減少し、前期比7.5%減の1,413億円
- 当期末受注残高：1,333億円
- 経常利益：タイヤ・ゴム機械、樹脂機械大型案件売上計上で前期比39億円増益の104億円



マイクロバイナリー



エンジニアリング事業部門

490 億円
(前年同期比 +25.4%)



- 受注高：震災復興に関連した廃棄物処理案件、維持管理業務を中心に受注を積み上げも、大型還元鉄プラントを受注した前期比では49.2%減の252億円
- 当期末受注残高：682億円
- 経常損益：前期比47億円増益の7億円



MIDREX®プラント



神鋼環境ソリューション

681 億円
(前年同期比 △0.0%)



- 受注高：水処理関連事業や化学・食品機械関連事業は増加も、廃棄物処理関連事業で減少し、前期比2.7%減の699億円
- 当期末受注残高：490億円
- 経常利益：案件コスト改善効果、経費圧縮等により前期比3億円増益の30億円



琵琶湖流域下水道湖南中部浄化センター

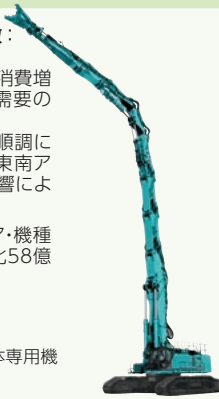


コベルコ建機

3,110 億円
(前年同期比 △2.3%)



- 油圧ショベル販売台数：前期比減
〔国内〕排ガス規制、消費増税に伴う駆け込み需要の反動影響により減
〔海外〕欧米は拡販順調に進捗し増も、中国・東南アジアは景気減速影響により減
- 経常利益：販売エリア・機種構成変化もあり前期比58億円増益の210億円



200トン級超大型建物解体専用機 [SK2200D]

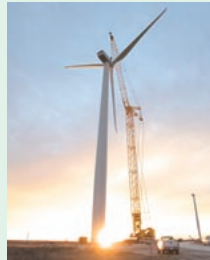


コベルコクレーン

711 億円
(前年同期比 +25.6%)



- 販売台数：前期比増
〔国内〕公共投資増などにより需要高水準で増
〔海外〕北米・アジア向け需要堅調により増
- 経常利益：前期比19億円増益の51億円



超大型クローラークレーン [SL6000]



その他

760 億円
(前年同期比 +6.8%)



- 神鋼不動産：
〔分譲事業〕堅調に推移
〔賃貸事業〕堅調に推移
- コベルコ科研：
〔試験研究事業〕自動車関連中心に堅調に需要推移
- その他の事業全体の経常利益：前期比2億円増益の70億円



ジークレフ 千里青葉丘

(注) 枠内の数字は売上高を記載しています。